

田尻町長 栗山美政様

台風 21 号災害対応問題及び被災者支援についての要望書

2018 年 10 月 17 日

全町職員あがての台風 21 号被災者支援に敬意を表します。日本共産党町会議員団は、台風 21 号災害対応について、全世帯を対象に町民アンケートを行い、86 通のご回答をいただきました。取り急ぎ、重要だと思われる点を 3 項目にまとめましたので要望いたします。ぜひ実現くださるようお願いいたします。

日本共産党田尻町会議員団

小川雄司

吉開育子

1、防災行政無線放送が「聞こえない」「聞こえづらい」などの苦情を解決するために、気象条件などにかかわらず、居宅内でも聞こえるよう防災行政無線の個別受信機として防災行政ラジオの導入及び普及を行っていただくことを求めます

趣旨：「高齢者家庭が増え、町内放送が聞こえないところも多いと思います。またホームページ、エリアメールなども高齢者にはムリ。若い人の考え方を高齢者に押し付けてはいけません。」とのご意見をいただきました。緊急速報メールなどのメールやホームページ、SNS 上での発信などに加え、全市町村の 16%（280 市町村 2018 年現在）で導入されている防災行政ラジオの導入及び普及に取り組んでいただくことを求めます。

2、台風 21 号被害にともなう被災者への全般的な金銭支援として、総合的な無利子融資制度の創設を求めます。また、罹災証明書を発行したすべての世帯に見舞金の支給を求めます。

趣旨：農地への飛散物処理と保全のための費用、火災保険で補償されない費用への支援、被災にともなう収入減を補う生活資金としてなど総合的な無利子融資制度の創設を求めます。また、見舞金は全半壊世帯のみでなく、すべての世帯に支給することを求めます。

3、災害発生後の被災者支援では、家屋被害の状況に応じてブルーシートの複数枚配布や家族数分の求めに応じて非常用食料の適切な配布を求めます。特にブルーシート張りは日常から業者との連携を強め、被災者に速やかに紹介できるようにしていただきたい。またガレキ撤去、ブルーシートの配布などにおいて高齢者や障がい者など社会的弱者への行政サービス・ボランティア支援を強めていただきたい。

趣旨：「80 歳を過ぎると重いものを持ってない。ブルーシートを役場に取りに来るように言われても自転車にも乗れない。」「自分でブルーシートをかけたりはできない。それだけでもしてほしい。」との切実なご意見をいただきました。「緊急時に少ない人数で多くの業務をこなすのはむづかしい面があると思います。消防団に限定せず、幅広く町民の自主的活動を募ってはいかがでしょうか。」などの積極的なご意見もいただいています。